

正しい生きがいのある

青少年に

青少年問題は、社会、経済の急激な変化についてますます複雑多様化されています。

これに対処するための青少年対策も、我が國はもとより、先進国といわれる外国に於ても、何らかの方途が講じられており、各方面でわざわざ努力が傾けられています。

新潟県においても、この複雑多様といわれる青年問題に対処して、根本的問題に対し、根本的問題を実現し、その対策のあるべき方向について、徹底的に解明して、これを青少年の健全育成に結びつける重要な役目をして、いかに少年の健全育成を総合的に推進するためには、いかにあるべきか」また「対策の中心となるものはなにか」と

青少年問題研究会に、昭和四十一年度以来、三ヵ年

にわたり委託いたしま

した。

この結果、新潟県青少年問題研究会では、新潟県に對して「青少年健全育成総合対策のあり方、すすめ方」について提言を行いました。この提

言の趣旨および内容が行

されました。

この提言は、県ならびに市町

村と一体的な実施の中

改められました。この提

言は、肝からかえると分段

せずに、かたさつて表を

はき果を作ります。

果の中の幼虫は最初は

目標に、青少年に正しい

生きがいをしなくて

なりません。

青少年総合対策の中心

要の表皮だけを残して食

なにより大切です。

がさないようになります。

この時期をの

うにあります。

この時期をの

うにあります。